

証明書記載参考（タイ向け）

平成27年5月1日現在

① 「Invoice Number」

→・インボイスナンバーを記載。

- ・郵便小包等の場合は、「Postal Parcel」と記載するとともに、送り状のItem number等をカッコ書きで記載。（例：Postal Parcel (XX ●●●● JP)）

② 「Declaration Number」

→・各発行機関で、以下のアルファベットと数字を組み合わせた整理番号を記載。（輸出貨物と証明書、申請書類等を照合するために必要）

- 登録した発行機関のAuthority number〔4文字〕
- 発行年(西暦)の下一桁〔1文字〕
- 食料・飼料区分(食料：1)〔1文字〕
- ISOカントリーコード〔2文字〕：タイは「TH」
- 証明書発行番号（毎年1月発行分から更新。初期値：0001）〔4文字〕

例：東京地域センターから、2015年に食品をタイ向けに最初に発行する場合
T A 1 3 5 1 T H 0 0 0 1

③ 「() (name of competent authority)」

→・()に登録した発行機関の名称（地方農政局等又は地域センターの名称）を記載。

例：地方農政局の場合

○○ Regional Agricultural Administration Office, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries

例：地域センターの場合

○○ Area Center, ○○ Regional Agricultural Administration Office, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries

④ 「DECLARES that . . . composed of () (description . . . weight)」

→・()に輸出品の商品名、包装形態、重量等を記載。

- ・輸出品が複数の場合は同欄に「See Annex」等と記載し、別紙で各輸出品の具体的内容等を記載したリストを添付。

⑤ 「embarked at () (embarkation place)」

→・()に日本の出港地を記載。例：●● Port, Japan

- ・申請時点で未定の場合は、申請段階では空欄とし、タイ側に提出するまでに発行機関又は申請者が記載。
- ・郵便小包等の場合は、「Postal Parcel」と記載するとともに、発送した郵便局等の所在地（都道府県・市町村名）をカッコ書きで記載。

例：Postal Parcel (posted at ●● City, ●● Prefecture)

⑥ 「on (____) (date of embarkation)」

→・(____)に日本からの出港日を記載。

- ・申請時点で未定の場合は、申請段階では空欄とし、タイ側に提出するまでに発行機関又は申請者が記載。
- ・郵便小包等の場合は、「Postal Parcel」と記載するとともに、郵便局等からの発送日をカッコ書きで記載。

例：Postal Parcel (posted on ●●, May, 2015)

⑦ 「by (____) (identification of transporter)」

→・(____)に貨物を輸送する航空便名、船便名等を記載。

- ・申請時点で未定の場合は、申請段階では空欄とし、タイ側に提出するまでに発行機関又は申請者が記載。
- ・郵便小包等の場合は、「Postal Parcel」と記載。
- ・第3国を経由する場合は、日本から経由地までの便名と、経由地から目的地までの便名の双方を記載。

例：by CA●●, CA●●

⑧ 「going to (____) (place and country of destination)」

→・(____)にタイ国内の目的地名とともに国名 (Thailand) を記載。

- ・第3国を経由する場合は、経由地も併せて記載。

例：going to Bangkok port, Thailand via Shanghai, China

⑨ 「which comes from the establishment (____) (name . . . establishment)」

→・(____)に生産地又は加工施設の名称・所在地（都道府県名（海外産の場合は国名）を含む。以下同じ。）を記載。

- ・生産地等が複数の場合は、同欄に「See Annex」等と記載し、別紙で④の輸出品ごとに生産地等を記載したリストを添付。

⑩ 「has harvested and/or processed before 11 March 2011」の□

→・2011年3月11日より前に生産・加工されたものの場合にチェック。

⑪ 「is originating from . . . (name of prefecture)」の□

→・指定地域以外で生産・加工されたものの場合にチェック。

⑫ 「is originating from (____) (name of prefecture) . . . 」

→ ・ (____) に輸出製品の産地 (加工食品は最終加工地) の都道府県名 (海外産は国名) を記載。

⑬ 「. . . and the main raw material is originating from (____) (name of prefecture)」

→ ・ (____) に輸出製品の主原料の産地 (都道府県名 (海外産は国名)) を記載。

⑭ 「has been sampled . . . 、 attached」 の□

→ ・ 指定地域で生産・加工されたものの場合にチェック。

・ ここにチェックする場合は添付する放射性物質検査報告書の検査結果がタイの基準値を超えていないことを確認

⑮ 「has been sampled on(____) (date)」

→ ・ 放射性物質検査を行うべき輸出製品の検体採取日を記載

(検体採取日は、製造年月日から検査機関による検体受付日の間)

⑯ 「analysis on (____) (date)」

→ ・ 放射性物質検査の実施日を記載 (検査実施日は、検査機関による検査報告発行日以前) 。

⑰ 「in the(____) (name of laboratory)」

→ ・ 放射性物質検査を実施した検査機関名を記載。

・ 検査機関が、省ウェブサイトのタイ向け輸出証明書 (http://www.maff.go.jp/j/export/e_shoumei/shoumei.html#thai) 「タイ向けに輸出される食品等に係る放射性物質検査機関一覧」に掲載されている機関であることを確認

・

⑱ 証明要件

→ ・ タイ側の証明要件は上記⑩、⑪、⑭のいずれか一つが証明されれば十分なため、いずれか一つをチェック。

⑲ 「Exported (name, address, country)」

→ ・ 輸出者の名称・所在地・国名を記載。

⑳ 「Consignee (name, address, country)」

→ ・ 輸入者の名称・所在地・国名を記載。

⑳ 「Done at ()」

→ ・ () に登録した発行機関の名称（地方農政局等又は地域センターの名称。㉓と同じ）を記載。

㉑ 「on ()」

→ ・ () に証明書の発行年月日を記載。

㉒ 「Stamp and signature of . . . competent authority」の下

→ ・ 登録した発行権者の役職名を記載（代理者が署名する場合には、冒頭に「For the」を挿入）するとともに、同職名の印を押印し、署名。

例：役職名の本人が署名する場合（地域センターの例）

「Director General of ○○ Area Center, ○○ Regional Agricultural Administration Office, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries」

代理者が署名する場合（地域センターの例）

「For the Director General of ○○ Area Center, ○○ Regional Agricultural Administration Office, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries」